

# 聖所からの光

2024年5月25日 第8課



今述べていることの  
要点は、わたしたちには  
このような大祭司が  
与えられていて、天に  
おられる大いなる方の  
玉座の右の座に着き、  
人間ではなく主がお建て  
になった聖所また真の  
幕屋で、仕えておられる  
ということです。

(ヘブル 8:1.2 新共同訳)

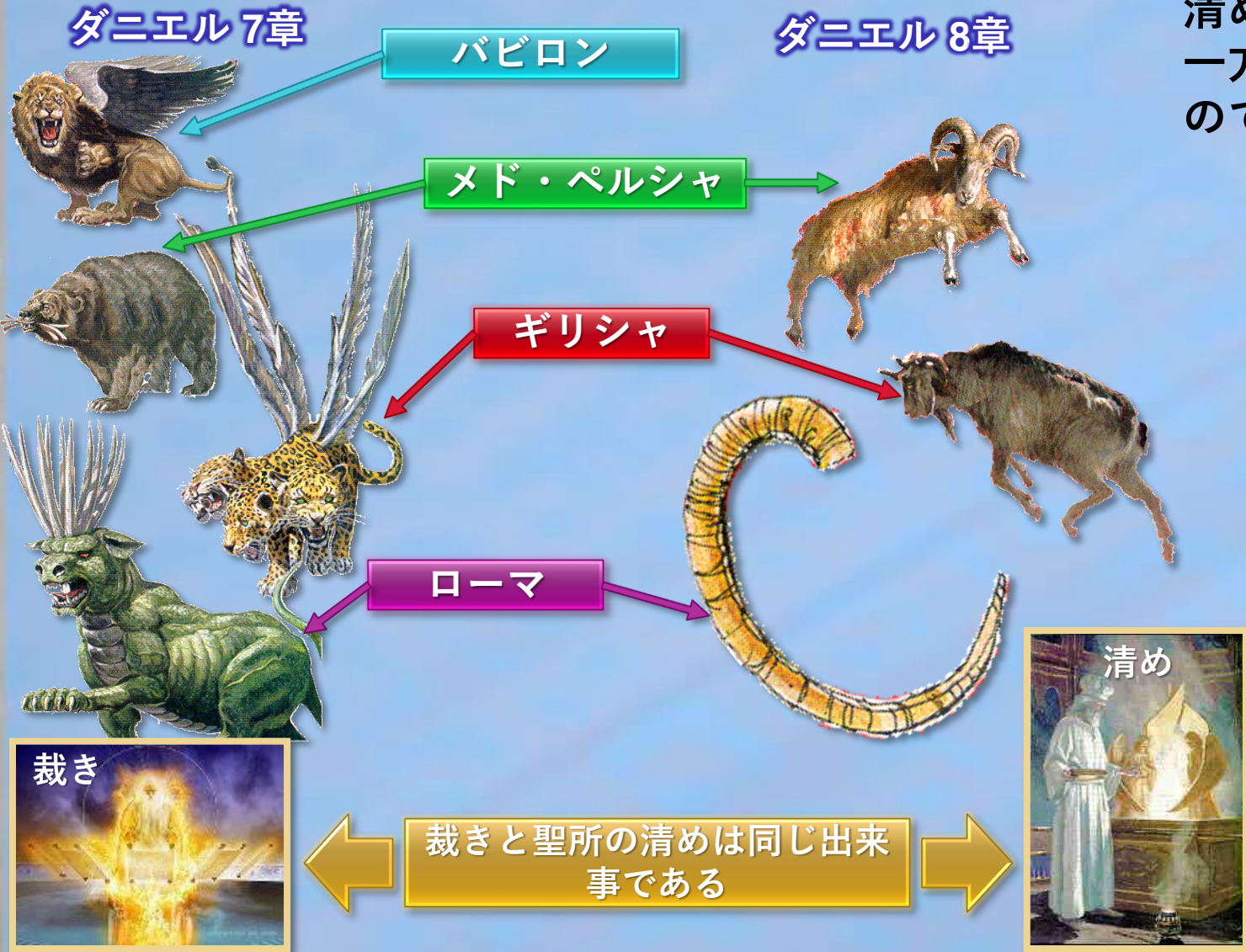





以上述べたことの要点は、  
このような大祭司が  
わたしたちのために  
おられ、天にあって  
大能者の御座の右に座し、  
人間によらず主によって  
設けられた真の幕屋なる  
聖所で仕えておられる、  
ということである。

(ヘブル 8:1.2 口語訳)

70週と2,300日の預言が示すように、イエスが1844年に再臨しなかった時、預言を修正する必要があった。そして、彼らはこれを発見した：

聖所のきよめはイエスの再臨ではない。ダニエル書8:14とダニエル書7:9-10の裁きが同じ出来事を予告しているとすれば、清められる必要のある聖所とは何だろうか。一方、1844年にどのような裁判が始まったのでしょうか？



-  天の聖所
-  聖所の清め
-  審判
-  慈愛と正義
-  弁護士と仲裁人

# 天の聖所

人間ではなく主がお建てになった聖所また真の幕屋で、仕えておられるということです。(ヘブライ8:2)

清められるべき聖所が地球でないとすれば、それは何だったのか？  
1844年の失望の後、アドベンチストたちは聖書を研究する中で、  
聖所が2つあることを発見した：

地上の聖所、まことの聖所の姿と影 (ヘブ8:5)

神ご自身によって建てられた天の聖所 (ヘブ8:2)

最初の聖所と、それに続くAD70年までの神殿は、神がモーセに示した模範  
(出25:40) に従って建てられた。そこでは、真の小羊と大祭司が表された：  
イエスである (ヨハ1:36；ヘブ4:14)。

第一に、イエスは私たちのために  
御自身をささげ、私たちの罪の罪を  
取り除いてくださった (ロマ5:8)

そして第二に、イエスは私たちの  
ために執り成し、私たちを罪の支配  
から解放し、救いを確保して  
くださる (ヘブ7:25)。



(日)

キリストが今、あなたのために  
執りなしておられることは、  
あなたにとって  
どのような意味がありますか？



# 聖所の清め



こうして彼は、イスラエルの人々のすべての罪による汚れと背きのゆえに、至聖所のために贖いの儀式を行う。(レビ 16:16上旬)

イスラエル人はいけにえを捧げることで赦されたが、その罪は聖所に「移された」。そのため、聖所を清める必要があった。これは、今日でもヘブライ人の間で裁きの日として知られている贖罪の日が起こった。



1人1人が罪のために身を悩まさなければならなかった  
(レビ23:27)



世俗的な活動は行われなかった  
(レビ23:28)



大祭司は神の御前に入った  
(レビ16:12-13)



箱、ベール、金の祭壇は、やぎの血で清められた  
(レビ16:15-19、33)



もう一頭の生きたヤギは、人の住まない土地に罪を負って追いやられた  
(レビ16:20-22)。



彼らはいかに罪から清められた  
(レビ16:30)

その日、罪を悔い改めて悲しまなかった者は「断たれた」。また仕事を休まなかったものは滅ぼされた(レビ23:29-30)。その日、その人の運命は定められた。同じように、天の聖所の清めが完了したとき、私たちの運命は封印される。一方、今日は私たちの魂を苦しめる日であり、決断の日である(ヘブ3:14-15)。

(月)

キリストの義は、  
あなたに何を与えたと思いますか？



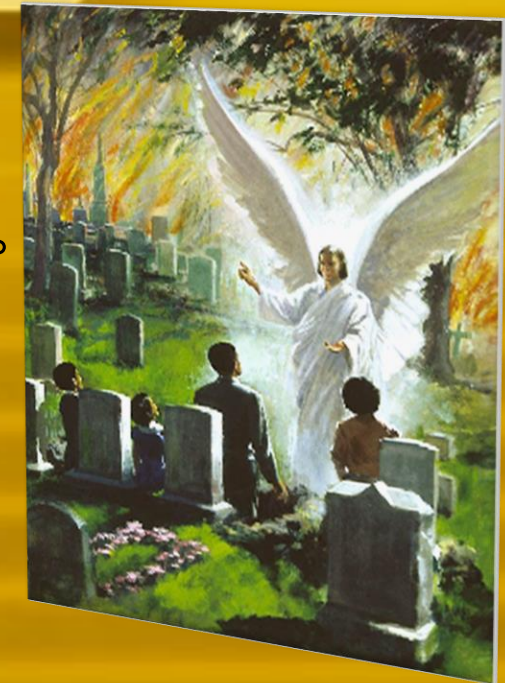
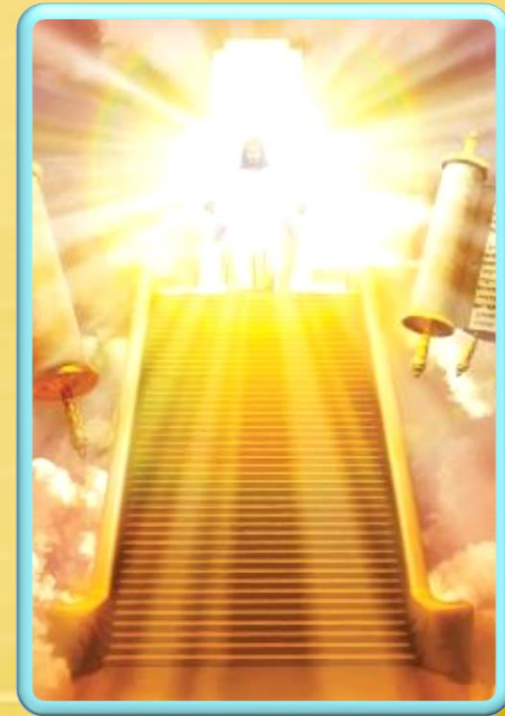
# 審判

大声で言った。「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい。」(黙示録 14:7)

預言によれば、天の聖所の清め、すなわち審判は1844年に始まった。それ以来、アドベンチスト教会は裁きの時が来たことを声高に宣言し、すべての人に神を礼拝し、神の戒めに従って生きるよう呼びかけている。

しかし、イエスが地上に来られるときに裁きは行われるのではないだろうか(1コリ16:33、2テモ4:1)。

イエスが来られる時、イエスはすでに行われた裁きを実行される。なぜなら、イエスは「ひとりひとりが行ったことに応じて」報いるために「報い」をもって来られるからである(黙22:12)、イエスは御使いたちを送って選民を集め(マタ24:31)、イエスを信じた人々を復活させる(テサ4:16)。イエスが来られる時には、死んだ不信者は復活しないので、その時には裁かれないことに注意しよう(黙20:4-5)。



(火)

なぜ、愛の神様が  
裁きをなさるのでしょうか？

# 慈愛と正義

そのとき、ダビデの幕屋に／王座が慈しみをもって立てられ／その上に、治める者が、まことをもって座す。彼は公平を求め、正義を速やかにもたらし。 (イザヤ 16:5)

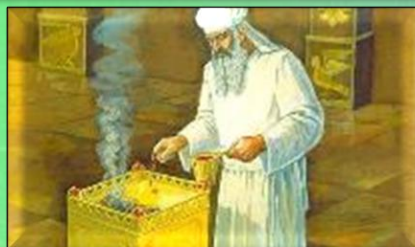
契約の箱に置かれた10の戒めは、裁きの基準、神の正義を表している (コヘ12:13-14)。律法と神の臨在の間に置かれた慈悲の座は、神の憐れみを表している (1ヨハ2:1-2)。

その血は燔祭の祭壇に振りかけられた。



天の聖所への道は、イエスの犠牲を受け入れることから始まる。

香の祭壇に振りかけられた彼の血



キリストと交わる生活を続ける

その血は、箱舟の前のべールに振りかけられた。



私たちの訴訟が裁判官の前に提示されたときに結論が出る



正義は律法の遵守を求める。憐れみは、私たちの代わりにイエスの完全な人生を受け入れる (1ペト1:18-19)。「こうして、愛がわたしたちの内に全うされているので、裁きの日に確信を持つことができます。」 (1ヨハ4:17)。

(水)

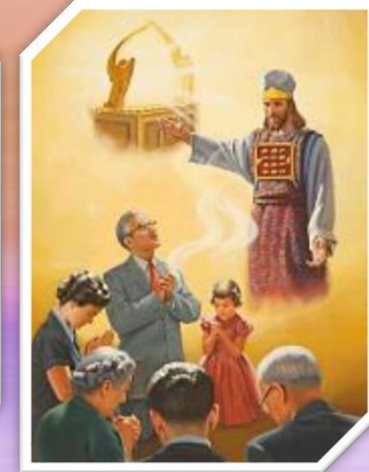
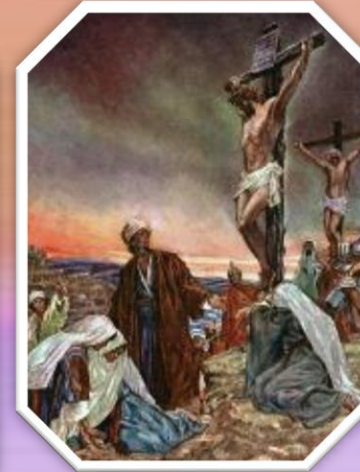
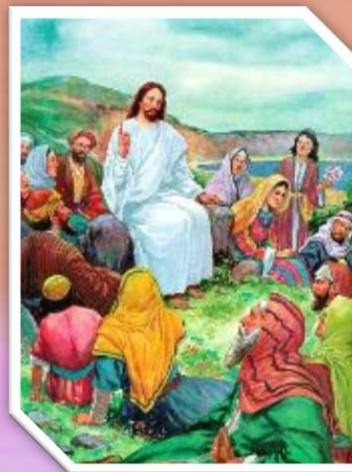
律法と福音の切り離せない関係とは、  
何でしょうか？

# 弁護士と仲裁人

それでまた、この方は常に生きていて、人々のために執り成しておられるので、御自分を通して神に近づく人たちを、完全に救うことができになります。(ヘブライ 7:25)

イエスの生涯は、困窮する世界と見守る宇宙に神の愛を明らかにした。イエスの死は罪の恐ろしさを明らかにし、全人類に救いを与えた。天の聖所におけるイエスの執り成しは、贖罪の恩恵を受けようと信仰に手を伸ばす一人ひとりに、贖罪の恩恵を与える。

私たちの人生を通して、そしてもちろん裁きのときにも、イエスは私たちの弁護者である(1ヨハ2:1)。



天の聖所におけるイエスの働きは、私たちに教えてくれる：

- 贖罪の計画についての明確な理解
- 神の律法の要求
- 私たちの救いの無限の代価
- 私たちが父に達するためにイエスが開かれた道
- 自信を持って神に近づくことができるという安心感

やがて審判は終わり、イエスは「二度目には、罪を負うためではなく、御自分を待望している人たちに、救いをもたらすために現れてくださるのです。」(ヘブ9:28)。



(木)

あなたは神様の裁きについて、  
どのように考え、また感じていますか？  
そしてそれはなぜですか？

『審判において、記録の書が開かれる時に、イエスを信じたすべての人の生涯が神の前で調べられる。われわれの助け主であられるイエスは、この地上に最初に生存した人々から始めて、各時代の人々のためにとりなし、現在生きている人々で終わられる。すべての名があげられ、すべての人の事情が詳しく調査される。 [...]

真に罪を悔い改め、キリストの血が自分たちの贖いの犠牲であることを信じたものは、みな、天の書物の彼らの名のところに、罪の赦しが書き込まれる。彼らは、キリストの義にあずかる者となり、彼らの品性は、神の律法にかなったものとなったので、彼らの罪は、ぬぐい去られ、彼ら自身は、永遠の生命にあずかるにふさわしいものとされるのである。』

「私たちは今、外庭に立って、その祝福された望み、すなわち、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの栄光ある出現を待ち望んでいる。[キリストは、私たちの弁護者として執り成すとき、人の徳も人の執り成しも必要としない。キリストは唯一の罪の担い手であり、唯一の罪の供え物である。祈りと告白は、至聖所に一度お入りになった方だけに捧げられるのです。主は、信仰をもって主のもとに来るすべての人を、とこしえに救ってくださる。主は、私たちのために執り成しをするために生きておられる。』